

非認知能力を構成する 17 の非認知スキル

非認知能力は、認知能力以外の能力を指し、行動姿勢、考え方等の総称です。ではどんな要素が非認知能力を構成しているのでしょうか。

生涯総研では 2018 年・2019 年発行のレポートにおいて、「社会生活で必要とされるスキルは何か」をテーマに考察しています。2018 年発行レポートでは、各省庁や国際機関等が発表している 10 の提言から重要な非認知能力構成要素（非認知スキル）を探りました。2019 年発行のレポートでさらに調査考察を重ね、下表「認知能力・非認知能力を構成する要素」のとおり整理しました。

参考にした 10 の提言等：

- ①文部科学省「生きる力」（1996 年）②文部科学省「課題探求能力」（1998 年）
- ③内閣府「人間力」（2003 年）④OECD-DeSeCo「キー・コンピテンシー」（2003 年）
- ⑤厚生労働省「就職基礎能力」（2004 年）⑥文部科学省「大学院に求められる人材養成機能」（2005 年）
- ⑦経済産業省「社会人基礎力」（2006 年）⑧文部科学省「キャリア教育(社会的職業的・自立,学校から社会・職業への円滑な移行に必要な力)」（2006 年）⑨文部科学省「学士力」（2008 年）
- ⑩文部科学省「幼児教育において育みたい資質・能力の三つの柱」（2016 年）

認知能力・非認知能力を構成する要素

認知能力	非認知能力
基礎学力	問題解決力 批判的思考力 協働力 コミュニケーション力 主体性
基礎的な知識・技能	自己管理能力 自己肯定感 実行力 統率力 創造性 探究心
専門性・専門知識	共感性 道德心 倫理観 規範意識 公共性 独自性

非認知能力を構成する要素の説明

次に、非認知能力を構成する要素（非認知スキル）について簡単に説明します。

問題解決力

論理的思考力の要素である「物事の意味を正しく捉え、自分の理解度や対応できる範囲を把握したうえで、問題解決に当たることができる力」をベースとし、自分で考え、本質的な問題を発見し、解決策を立案する。さらに、それを臨機応変かつ適切に対応しながら遂行する（実行し成果を出す）ことができる力。認知能力に分類されることもある。思考力・推進力・経験や人材などの資源活用・発信力など。

批判的思考力

論理的思考力の要素である「主観的な事柄と客観的な事柄とを区別したうえで、根拠に基づいて判断し、さらに、筋道立てて考えることができる力」をベースとし、他者および自分の考えに対して熟考し、先入観にとらわれずに、俯瞰的な視点から考えることができる力。批判的思考態度・多角的な視点・自分の行動の評価（メタ認知的要素）など。

協働力

異なった環境や立場にある複数の他者と、助け合ったり、譲り合ったりして、お互いを尊重し合いながら、同じ目標や目的を達成できる力。他者視点の獲得・所属意識・協調姿勢・協力行動・調整力など。

コミュニケーション力

お互いの気持ちや感情を理解・尊重し合いながら、適切なタイミングや表現方法で自分の感情や意思を伝えたり、他者を受け入れたりして、信頼関係を築くことができる力。他者視点の獲得・発信力など。

主体性

自分の意志や判断によって責任をもって行動する姿勢、および遂行しようとする意欲。自発的行動・意志・意欲など。

自己管理能力

自分の目標や目的を達成するため、または集団のルールの中で自分の役割を果たすために、自分を律し、管理し、自己を分析することができる力。自制的行動（感情・行動・思考）、メタ認知的行動など。

自己肯定感

自分のあり方を積極的に評価できる感覚、および自分の価値や存在意義を肯定できる感覚。自己効力感、自尊心など。

実行力

「目的のために行動する力」をベースとし、自分または集団の目標や目的の方向性を適切に見極めたうえで、計画を立案し、遂行することができる力

統率力

他者の行動を統制して集団をひとつにまとめ、その集団を率いて全体の目標や目的の達成のために行動することができる資質や力

創造性

突然出現するものではなく、長い年月を要する基礎的な努力に加え、熱中して物事に取り組むことや様々な経験を積み重ねた結果として築かれるもので、新奇で独自かつ生産的な発想を考え出すこと、またはその姿勢

探究心

物事の本質を捉えようとする姿勢、および本質や意義について、より掘り下げて見極めようとする意欲、および好奇心

共感性

他者と喜怒哀楽の感情を共有すること、またはそれらを感じ取ることができる感性。自然、生き物に対する愛情や畏敬の念

道徳心

道徳を守る心。善悪を判断し、善を行おうとする心

倫理観

人として守り行うべき道、倫理的（善悪・正邪の判断において普遍的な規準となるもの）な考え方や捉え方

規範意識

道徳，倫理，および法律等の社会のルールを守ろうとする意識

公共性

価値観が違ふと思われる組織，集団，社会での自分の役割を理解し，その責務を果たそうとする姿勢

独自性

独自の観念で行動しようとする姿勢。新しいアイデアや他者と異なった感性を生かすことのできる力

<参考レポート>

日本生涯学習総合研究所 「非認知能力」の概念に関する考察（1）（2018 年） 「非認知能力」の概念に関する考察（2）～非認知能力の要素における関連性の観点から～（2019 年） 「非認知能力」の概念に関する考察<集約版>（2022 年）